

あぶたん つっしん

136号

水閘門操作員講習会実施

2月17日(火)に岩沼市民会館で平成26年度水閘門操作員講習会を開催しました。

水閘門操作員とは、河川に設置されている樋管の点検や操作等を委嘱されている地域の皆さんです。岩沼出張所管内では、12名の方を任命しています。

出水時に災害を未然に防ぐために樋管のゲートを開閉操作したり、平常時には定期的な点検を行うなどの重要な役割があります。災害が起きたとき迅速に的確な操作ができるよう講習会が行われ、万全の体制で臨んでいくことを確認しました。



▲仙台河川国道事務所長表彰【勤続15年以上】
深川排水樋管 加藤 清志 操作員(永年勤続受賞)
引き続きよろしくお願いたします。



地域を守る操作員の皆さん

阿武隈大堰ゲート設備 修繕工事

▶膜厚測定器を使用し、塗装の厚さが適正か検査している様子



阿武隈大堰では、堰の正常な機能を維持するために、10門あるゲートのうち毎年1門ずつ修繕を行っています。

洪水などの水災害の少ない時期に施工され、塗替塗装などの補修が施されます。

阿武隈大堰外ゲート設備修繕工事の工事担当者石川さんに作業で大変なことをお聞きしたところ、「塗装作業では何度も重ね塗りを行うことで均一にムラなく塗られているか検査し、現場作業を安全に行うことに気をつけています。幸い今年は天候に恵まれてスムーズに作業が進んでいます。」と、答えてくれました。

これまで行われているメンテナンスや定期的な点検など、たくさんの方々に支えられて阿武隈大堰は今日も健全に動き続けています。



工事担当者の石川さん



シートの中の状態

かせんきょりひょう

河川距離標とは

■河川距離標は河口からの距離

河川距離標は、国土交通省の管理する河川において、川の調査や維持管理を行うため、目印に左右岸の堤防に河口を起点として、川を中心を基準に200m間隔で設置しています。

この河川距離標は、阿武隈川河口部から「11.0km」の位置であることを表している。



河川距離標

この杭は、河川管理のために必要な重要な基準点。
(距離標杭)



阿武隈川(槻木大橋から)

■河川距離標で速やかな場所の特定

河川距離標は河川利用者の目に付きやすいため、散歩やジョギング時の距離の目安、河川内で発生した事故等の場所を分かりやすく伝える手段として、速やかな場所の特定に繋がるよう、警察及び消防関係部局と連携を強化しております。

河川のご利用の際に事故等に遭遇した場合は、発生場所の通報にご活用ください。

川の流れる方向を向いて
右側が右岸(うがん)、
左側が左岸(さがん)
になるんだよ。

■その他目印になる物を伝えましょう！

その他に橋や堤防上に設置されている樋門・樋管等の名称を目印にすることができます。



《通報例》

- ◆〇〇川で友達がケガをしました！
場所は、阿武隈川の右岸で近くに「11.0km」表示(距離標)があります。
- ◆〇〇川で火災が発生しています！
場所は、阿武隈川右岸(左岸)で槻木大橋の下流(上流)側です。